

13 章 7 節「すべての人に対しての責任を果たしなさい、税を納めるべき人には税を、関税を納めるべき人には関税を、恐れるべき人を恐れ、敬うべき人を敬うことによって」

13 章 8 節「だれに対しても何の負い目もあってはなりません、互いに愛し合うことのほかはです。それは、他の人を愛する者は、律法を全うしているからです」

13 章 9,10 節「姦淫してはならない。殺してはならない。盗んではならない。貪ってはならない(隣人のものを欲してはならない)。そして、たとえ他に何の戒めがあるとしても、『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい』ということばに要約されるからです。愛は隣人に悪を働きません。それゆえ愛は律法を満たすものです」

13 章 11, 12 節「さらにあなたがたはこの時(カイロス:好機)のことを知っています、それはあなたがたがすでに眠りから覚めるべき時刻(a point of time)です。それは今、私たちのための救いが、私たちが信じた頃よりも近くにあるからです。夜は深まりました。そして、昼が近づきました。ですから、闇のわざを脱ぎ捨てようではありませんか。光の武具を身に着けようではありませんか」

13 章 13, 14 節「ですから、昼らしい、品位ある生き方をしようではありませんか。遊興や酩酊ではなく、また、淫乱や好色でもなく、争いやねたみでもない生き方を。むしろ、主イエス・キリストを着なさい。そして欲望を満たそうなどと、肉の計らいをしてはなりません」

<関連引用聖句>

(ローマ 1:14)「ギリシア人にも未開の人にも、知識のある人にも知識のない人にも、私は負い目のある者です」

(ローマ 8:12,13)「ですから、兄弟たち、私たちは負債を負っています(負い目があります)。ただ、それは肉に対するもの、肉に従って生きるというものではありません。というのは、もし、肉に従って生きるなら、あなたがたは死ぬことになっているからです。しかし、もし御霊によってからだの行いを殺すならば、あなたがたは生きます」

(マルティン・ルター:「キリスト者の自由」での命題、「キリスト者はすべてのものの上に立つ自由な主人であって、だれにも従属していない」「キリスト者はすべてのものに奉仕する僕(しもべ)であって、だれにも従属している」

(マタイ 22:37-39「あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい」という「重要な第一の戒め」、「『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい』という第二の戒めも、それと同じように重要です」(レビ 19:18)

(ヤコブ 2:8)「もし本当に、あなたがたが聖書にしたがって『あなたの隣人をあなた自身のように愛しなさい』という最高の律法を守るなら、あなたがたの行いは立派です」

(ローマ 12:10)「兄弟愛において互いに慈しみ、互いへの尊敬において導き合い」

(マタイ 7:12)「人からしてもらいたいことは何でも、あなたがたも同じように人にしなさい。これが律法と預言者です」

(ローマ 12:15)「喜んでいる者たちとともに喜びなさい、泣いてる者たちとともに泣きなさい」

(マタイ 5:17)「わたしが律法や預言者を廃棄するために来た、と思っはなりません。廃棄するためにではなく、成就するために来たのです」

(ローマ 8:23,24)「御霊の初穂を受けている私たち自身も自分の中でうめいています、子(息子)とされる(の立場とされる)こと、すなわち私たちの身体が贖われることを待ち望みながら。それは、望みにおいて私たちは救われたからです。」

(Ⅰコリント 15:12,20)「死者の復活はないと言う人たちがいるのですか…今やキリストは、眠った者の初穂として死者の中からよみがえられました」

(Ⅱコリント 6:1,2)「神の恵みを無駄に受けないようにしなさい…見よ、今は恵みの時、今は救いの日です」

(エペソ 6:11,14-17)「悪魔の策略に対して堅く立つことができるように、神のすべての武具を身に着けなさい」「真理の帯」「正義の胸当て」「足には平和の福音への備え」「信仰の盾」「救いのかぶと」「御霊の剣、すなわち神のことば」

(マタイ 22:42-44)「ですから、目を覚ましていなさい。あなたがたの主が来られるのがいつの日なのか、あなたがたは知らないのですから…泥棒が夜の何時に来るのかを知っていたら、家の主人は目を覚ましているでしょう…ですからあなたがたも用心していなさい。人の子が思いがけない時に来るのです」

(エペソ 5:8)「あなたがたは、以前は闇でしたが、今は、主にあって、光となりました。光の子どもとして歩みなさい」

(ローマ 6:13)「あなたがたの肢体(五体、手足)を不義の道具として罪(単数形)に献げてはいけません。むしろ自身を、死者の中から生かされた者として、神に献げなさい。またその肢体を義の道具として」

(ガラテヤ 3:27,28)「キリストにつくバプテスマを受けたあなたがたはみな、キリストを着たのです。ユダヤ人もギリシア人もなく、奴隷も自由人もなく、男と女もありません。あなたがたはみな、キリストにあって一つだからです」

(コロサイ 3:9,10,12)「あなたがたは古い人をその行いととも脱ぎ捨てて、新しい人を着たのです。新しい人は、それを造られた方のかたちにしたがって、新しくされ続け、真の知識に至ります……ですから、あなたがたは神に選ばれた者、聖なる者、愛されている者として、深い慈愛の心、親切、謙遜、柔和、寛容を着なさい」